

通し番号	3707
------	------

分類番号	12-4B-12-06
------	-------------

サルスベリ新品種 ‘ディア ウィーピング’ の育成経過と主要な特性	
[要約] ‘ディア ウィーピング’ は、一才性赤花品種 ‘相武紅’ の自然実生から選抜育成された。赤紫色の花と枝垂れる樹型が特徴で、在来のサルスベリ品種に較べうどんこ病に罹りにくい。すでに導入普及している枝垂れ性の白花品種 ‘アコマ’ と組み合わせた流通利用が期待される。現在、農林水産省に種苗登録申請中である。	
農業総合研究所・生物資源部	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

すでに普及しているうどんこ病抵抗性サルスベリ品種に加え、新たな花色や樹型を有する新品種を育成し、その特性を明らかにし、普及利用の資料とする。

[成果の内容・特徴]

1 育成経過

1991年に11組み合わせの交配を行い、1992年3月に温室内で播種、得られた合計593個体の苗を同年7月にほ場に定植し育成試験を開始した。本品種はこのうち市販一才性紅花品種（‘相武紅’と命名）の自然実生個体から、枝垂れ樹型で濃赤紫花色の個体を選抜したものである。その後、原木及び栄養繁殖苗を供試し特性調査を継続したところ、各特性が安定していることが確認されたので2000年に育成試験を完了した。本年5月に当所で開催された、勤務発明検討会議で名称を‘ディア ウィーピング’とし、勤務発明品種として種苗登録申請を行うこととした。現在、種苗登録申請中。

2 主要な特性（表1、2）

樹型は枝垂れ樹型で樹勢は比較的弱く、幹及び前年枝の色は淡茶色で、分枝性は中程度、枝は細く節間長は中庸。葉は広披針形全縁で波打はなく、色は濃緑色でやや細い。花房長は中庸、幅は狭い。花は一重で大きさは中程度、花色は鮮赤紫（日本園芸植物標準色票：9507）で単色6弁で香りは殆ど無い。開花始めは7月上中旬で比較的早く、開花期間も長い。在来のサルスベリ（インディカ種）品種の中ではうどんこ病に罹りにくく、露地栽培で薬剤防除は不要である。対照品種の‘アコマ’ ‘ウィーピングピンク’ はいずれも枝垂れ樹型であるが花色がそれぞれ黄白（2501）紫ピンク（8903）であり、これらの品種と組み合わせた流通利用が期待される。

[成果の活用面・留意点]

- 1 枝垂れ樹型のため、スタンダード樹型の傘づくりに仕立てるためには、目的の樹高に達するまで支柱に誘引する。樹高は挿し木3年畑定植2年で2m程度まで養成可能。
- 2 神奈川県勤務発明品種のため増殖生産には許諾契約が必要。

[具体的データ]

表 1 サルスベリ新品種の主要な特性

品種名	樹姿	樹高 *1	節間長 cm	葉の形	葉身長 cm	葉身幅 cm	未成葉色 *2	成葉色	葉柄長 mm
ディアウィーピング	枝垂れ	低	3.4	広披針形	5.8	2.9	濃橙赤 0714	濃緑	2.0
アコマ	枝垂れ	中	4.1	楕円形	6.6	3.6	穩赤 0416	緑	2.8
ウィーピングピンク	枝垂れ	中	6.0	楕円形	8.2	4.8	緑褐 2709	緑	2.7

*1 枝垂れ樹型のため樹勢の強さを表す

*2 葉色及び花色は日本園芸植物標準色票による

表 2 サルスベリ新品種の主要な特性

品種名	花房 *3	花房長 cm	花房幅 cm	小花数 個	小花径 cm	花色 *2	開花始め	罹病性 *4	萌芽期
ディアウィーピング	3	15.0	9.5	54	4.0	鮮赤紫 9507	7/上中	2	4/上
アコマ	2	21.0	15.0	154	3.5	黄白 2501	7/上中	1	4/上
ウィーピングピンク	3	35.0	24.0	231	4.0	紫ピンク 8903	7/上中	2	4/上

*3 花房は花房のタイプ、2：花房中に葉が数個着生、3：花房中に葉が多数着生

*4 罹病性はうどんこ病の罹病程度、1：罹病するが病班は広がらない、2：病班がやや広がる、3：病班が広がる



‘ディアウィーピング’樹型と花房

‘アコマ’

[資料名] 平成12年度農業総合研究所試験成績書（花き・観賞樹）

[研究課題名] 観賞樹の新品種育成試験

[研究期間] 平成12年度（平成3～12年）

[研究者担当名] 堀越禎一